

(3) 幸手宿場コース

- ① 幸手駅・幸手城跡
- ② 一色稻荷神社
- ③ 明治天皇行在所跡
- ④ 志手橋
- ⑤ 神明神社
- ⑥ 岸本家住宅主屋
- ⑦ 旅館「あさよろず」
- ⑧ 永文商店
- ⑨ 問屋場跡
- ⑩ 本陣跡
- ⑪ 愛の妻路地
- ⑫ 日光御廻り道
- ⑬ 豪商長嶋屋跡
- ⑭ 浅間神社
- ⑮ 幸手一里塚跡
- ⑯ 正福寺
- ⑰ 聖福寺
- ⑱ 雷電神社
- ⑲ 妙観院
- ⑳ 幸宮神社
- ㉑ 割烹「ときわや」
- ㉒ 満福寺
- ㉓ 天神神社

※参加者や時間に合わせてコースが変更になる場合があります。

七 まんぶく 満福寺



幸手一色氏が開基した寺院と伝わり、正福寺「義賑窮餓之碑」に記されている施粥は、ここで行われました。例年8月10日の四方六千日の祭りには多くの参詣があり、9日の前夜祭には、行燈の点灯やコンサートなどで夏の夜を飾ります。

八 てんじん 天神神社



幸手城の鬼門に位置し、一色氏の守護神として祀られたと考えられています。別名「裏町天神」とも言われる地域の神社です。境内は、昔から子どもたちの遊び場になっており、8月下旬には天神町ナイトバザールが行われるなど、賑わいを見せています。

・・・参加者の声・・・

「宿場あるきはインターネットで知り、申込みました！」と話す、墨田区からご夫婦で参加の内田さん。「権現堂堤には10年ぐらいい来ていて、街中の古い建物も気にはなっていました。幸手のことを知る良い機会となりました。」と話してくれました。



四 さつていちりづか 幸手一里塚跡



日本橋から12里(約47km)を記しています。さつて郷土かるたの歌にもなっています。

五 しょうぶく 正福寺



天明の飢饉の折に幸手宿の商人たちが、困窮した人のために末寺である満福寺の境内で、施粥を行ったことを記念して「義賑窮餓之碑」が建立されました。(県指定文化財)

六 割烹「ときわや」



日光社参の折に八代將軍徳川吉宗が、聖福寺で食べた昼食の献立を再現した「吉宗弁当」が、割烹ときわやで提供されています(要予約)。

幸手駅東口に集合！みんなそろって出発！



※令和元年9月28日(土)に実施。



参 ほんじん 本陣跡



幸手宿の本陣は知久家が務め、1876(明治9)年の明治天皇行在所ともなりました。当時の知久家は久喜新道の始まる「義語家」と向かいの鴨田宅のあたりであったと言われています。義語家の主人が、明治天皇に「義」を「語った」ことから「義語家」になったというエピソードも。

七 いっしきいなり 一色稻荷神社

幸手城の一角に祀られていたと考えられています。毎月22日の縁日と、初午祭りなどの祭りが行われています。



式 しで 志手橋

幸手宿の始まりで、かつて川幅は広く「志手沼」と呼ばれ、橋の長さも21間(38m)あったそうです。出会いの場所でもあり、別れの場所でもあるここで、目を閉じると、幸手宿の人々の気持ちが分かる気がします。



案内は、私たちにおまかせ！

「幸手宿観光ガイドの会」



宿場町としての幸手を中心に、ガイド活動をしています。定例で開催している「宿場あるき」は、幸手宿場コース・幸手駅西口コース・権現堂周辺コースの3コースがあります。また、熱中症が心配される夏季は屋内でスクリーンに投影された史跡を案内する「映像による幸手宿宿場あるき」を実施しています。

開催予定は、幸手市のホームページおよび広報さつての情報広場(本紙27ページ参照)で、毎月ご案内していますので、参加希望の人は幸手市役所商工観光課までお申し込みください。

グループからのガイド依頼(含む映像版)もお受けしていますので、お気軽にご連絡ください。みなさんのお申し込みをお待ちしております！！